

# 1人1台端末の活用による実践事例

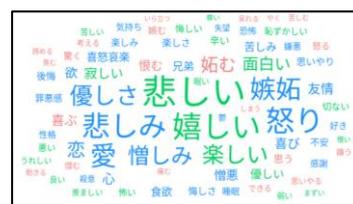
(小・中学校)

学校名	岡山県立岡山操山中学校	実践者名	坪井 晶広
教科等	国語	学年	第1学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。(思考・判断・表現力等)		
単元・内容等	『竹取物語』に描かれた「人間のこころのありよう」を捉える		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	基本的に毎回の授業でクロームブックを使用している。主にフォーム、ドキュメント、スプレッドシート、クラスルームの質問機能などを利用。		

活用の概要(使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する

## 【課題設定】

- 『竹取物語』冒頭と「石作りの皇子」の全体授業を行う。
- 絵本「かぐや姫」と原典『竹取物語』の違いについて考察する。
- 「人間のこころ」には、「家族愛」や「親子愛」以外にどのようなものがあるか挙げる。テキストマイニングで視覚化する。
- 4人班で『竹取物語』にあらわれている「人間のこころ」に迫るための追究テーマを立てる。  
(例：五人の貴公子、翁の物語として読む、かぐや姫と帝等…)



## ポイント

- 生徒の意見の可視化。
- 生徒自身に問題(追究テーマ)設定をさせる。

## 【追究学習】

- Classroomにアップされた『竹取物語』に関する論文(PDF)や書籍、参考資料、HP等を活用し、調べ学習を行う。  
評価基準(ルーブリック)は予め共有する。
- 調べた内容をスライドにまとめる。
- スプレッドシートに毎時間の活動記録を入力させる。  
(ポートフォリオ形式)



## ポイント

- 生徒が主体的に学習手段を選択できるよう、ICT活用を含め、様々な媒体の資料を準備する。
- スライドを使い、同時編集を行う。
- 評価基準はクラスルームのルーブリック機能を活用。



## 【発表・振り返り】

- スライドを使って発表する。
- 聞き手はGoogle Formsに評価を入力する。
- スプレッドシートは予め生徒に共有しておき、活動後すぐ閲覧できるようにする。
- ルーブリックに基づいて振り返りをする。Google Formsで提出する(全体に共有)。

## ポイント

- 振り返りはその場で全体共有できるようにしておく。

実践者の手ごたえ	児童生徒の振り返りや反応等
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用によって、追究学習の資料準備や発表資料の作成が容易になった。振り返りのポートフォリオも毎時間回収する必要もなく、手軽である。</li> <li>学年が上がってくれば、アウトプットの方法も選択させていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身に追究課題を設定させたため、活動への意識が高まり、普段であれば手がつきにくい、書籍や論文を読み込む生徒が増えた。</li> <li>生徒意見や発表資料、振り返り等がすぐに全体共有できる点について、メリットを感じている生徒が多かった。</li> </ul>